

第 7 回地区庶務担当理事連絡協議会

(平成 29 年 11 月 22 日開催分)

△北川副会長挨拶

府医創立 70 周年記念式典が無事に終了したことに謝意を示した後、9・10 月に発生した大型台風の影響により、休業せざるをえなかった医療機関へのお見舞いを行ったと報告した。

また、中央情勢について、診療報酬改定の議論が進んでいる中、医療経済実態調査が報告されたことを受け、経済財政諮問会議では 5 千億円以上の抑制を主張しているとし、今後、注視すると共に、今後の改定については、随時広報するとした。

さらに、障害者基本計画について、中間案まで進んでいるものの、各医療圏における事情を反映しているとは言い難く、地区医からの意見が非常に重要であるとし、引き続いての協力を求め、挨拶を締めくくった。

△報告ならびに協議事項

1. 麻薬新免許証の交付について

10 月に申請書を提出された本年の更新対象者の麻薬免許証について、交付日時・場所や必要書類等を説明した。(京都医報 12 月 1 日号 No. 2114 「保険だより」参照)

2. 医療政策懇談会について

と き 12 月 16 日 (土) 午後 5 時～6 時 30 分

ところ 京都府医師会館

講 演 「平成 30 年医療・介護同時改定 toward &beyond」

厚生労働省 医務技監 鈴木 康裕 氏

平成 30 年医療・介護同時改定を控え、国における具体的な政策の議論等についての講演が行われることを紹介し、多数の参加を呼び掛けた。

3. 最近の中央情勢について

10 月から 11 月にかけての社会・医療保険状況について、「財務省の『民間の一般病院の損益はむしろ改善している』との見解に対する横倉日医会長の反論」、「複数医療機関の訪問診療の評価対象範囲を拡大」、「薬価改定は対象範囲を 2020 年中に設定する」等の話題を中心に説明した。

4. 京都府医師会指定学校医制度について

来年は 3 年に一度の一斉更新の時期であることを報告し、更新手順と今後の予定を説明。

京都市立学校の学校医においては、京都市学校医会が取りまとめて申請を行うものの、京都市外は地区医ごとの取りまとめとなることから、理解と協力を求めた。

なお、2月末から3月初旬にかけて各学校医宛てに更新申請書を送付するとし、京都市外の学校医については平成30年5月31日までに各地区医に提出を求めるとともに、地区医は6月初旬に取りまとめた更新申請書を府医へ提出するよう依頼した。

5. 学術講演会の今後の予定について

12・1月に予定している京都府医師会学術講演会を紹介し、多数の参加を呼びかけた。

6. その他

なし。

△地区からの協議事項

1. 公務等出務医師の募集について

特定健診、健康まつり、介護認定審査会の審査委員等、出務会員を原則、自薦で募っているものの、なかなか集まらず、同じ会員に偏る傾向があるため、他地区での状況や募り方の工夫、対策等を教えて欲しいとの意見が出され、各地区の状況が報告された。

北川府医副会長より、出務医師の募集について、日常診療等により、出務可能な会員が限られてしまうなど、対応に苦慮している状況に理解を示した。その上で、今後、かかりつけ医機能の強化として、更なる地域医療への活動が求められることから、協力する医師が増えるのではないかと期待を表した。また、引き続き、各地区医の協力を求めた。

2. その他

なし。